

とめよう戦争への道！百万人署名運動 千葉県連絡会通信		2019年 6月号 (235号)	発行責任 県連絡会事務局
連絡先	〒260-0017 千葉市中央区要町2-8 DC会館1F TEL.043-202-7820 【郵便振替】00170-2-78549 百万人署名運動千葉県連絡会 ホームページ <a href="http://www7a.biglobe.ne.jp/~hyakuman-chiba/index.htm">http://www7a.biglobe.ne.jp/~hyakuman-chiba/index.htm</a>		

## 1. 今月の署名数 221筆 (4月24日～5月17日)

\*新署名一憲法への自衛隊明記と緊急事態新設に反対する署名(改憲阻止署名)1,190筆(+116)。星野さん全証拠開示・再審請求署名6,631筆(+48筆)。一それ以外の署名は今月は0筆でした。戦争するな!9条変えるな署名1,245筆。裁判員制度反対署名3,432筆。被曝と帰還を強制する常磐線の全線開通に反対する署名(DM)604筆。被曝と帰還の強制反対署名(福島署名)1,381筆。外房線の利便性及び安全性向上を求める署名84筆。

### ①街頭署名(街宣)

日時	場所	人数	新署名	裁判	星野	要望	他	計	ビラ	カンパ
4/24	千葉・裁判	5		0				0	50枚	
5/01	メーデー	5	3				2	5	400	6,255円
5/03	憲法集会	7	79		48	10		137	1,000	41,686
5/12	ちば・合同	6	12					12	120	
	計	23	94	0	48	10	2	154	1,570	52,941*

### ②会員から

\*1人の方から星野カンパ5千円を新署名1人から22筆。星野要望書4人から45人分。ありがとうございました。

## 2. 街宣・署名行動等 是非ご参加を!

- 6月08日(土) 15:00～ 東葛星野街宣・署名行動 柏駅西口
- 6月09日(日) 12:00～ 百万人署名運動街宣・署名行動 上野公園野外音楽堂
- 6月16日(日) 15:00～ 星野街宣・署名行動 日高屋前(17:00～事務局会議)
- 6月20日(木) 14:00～ 百万人署名運動街宣・署名行動 市川駅前

## 3. 改憲と戦争の道をとめよう!「非正規だけの社会にするな」今こそ国鉄1047名解雇撤回へ! 「国鉄闘争全国運動6・9全国集会」に結集しよう!!

- 日時: 6月9日(日) 13時開始(12時開場)
- 場所: 上野公園野外ステージ(東京都台東区上野公園内)
- 呼びかけ: 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

国鉄1047名解雇撤回・労働運動の再生を目指す全国集会が上記の内容で開催されます。安倍内閣、JR・資本家陣営にとっては「非正規雇用だけの社会」「労働組合の存在しない社会」を作ることが「働き方改革の目的です。それは9条改憲と表裏一体の現代版産業報国会化の攻撃です。この闘いは、JRのみならず日本の労働者の未来がかかっています。最先頭で闘う国鉄闘争全国運動への支援と連帯をこめ参加・結集しましょう!

2019年の折り返し地点に立ち、秋の臨時国会での改憲発議を許さない、闘う意思を確認する場でもあります。皆さんの結集を訴えます!

百万千葉は、12時より現地で署名活動・保養カンパ集めを行います。総武快速線の最後尾の車両千葉発10:27、稲毛発10:03分、津田沼発10:38、船橋発10:41、市川発10:47で一緒に。

## 4. 福島の子供たちの健康を守ろう!今年も保養をやります 引き続き保養へのカンパを訴えます!

原発事故から8年、福島原発事故は終わっていません。小児甲状腺がんは200人を超え被曝は今も続いています。「原発事故はなかったこと」に絶対できません。

避難指示解除にもかかわらず帰還した住民は2割もいない、そんな中で、来年には聖火リレーを福島第一原発から20キロの地点から出発させオリンピックを開催しようとしています。「復興五

輪」とは誰のための復興なのでしょう？

この間カンパ活動を行い5・1メーデー集会で6,255円、5・3憲法集会で41,686円、とたくさんの方からご協力をいただきました。しかしながら現在額で34万円強で、最低でも60万円必要ですので、まだまだ大幅な資金不足です。

再度のカンパの要請に、ご支援を、是非よろしくお願いいたします。

福島の子供たちが楽しみに待っています。皆さんと一緒に夏の保養を成功させましょう！！

## 5. 星野文昭さんの命を守るため仮釈放を求める新要望書をお願いします。

仮釈放が不許可とされ、その後東日本成人矯正医療センター（医療刑務所）に移監された星野文昭さんは、検査の結果14センチ大の肝細胞ガンが発見され、5月28日に手術が行われました。その大きさは肝臓の半分ほどで非常に大きく、手術ができるかどうかのギリギリの状態でした。

徳島刑務所は、ようやく行った3月のエコー検査で異常を認識しながら、仮釈放させないためにそれを押し隠して放置し、治療の機会を奪ったのです。これだけ大きなガンになるまでには発生から数十年が経っており、刑務所での定期的な健康診断がきちんと行われていれば、早期発見・早期治療が出来たはずですが、徳島刑務所の責任は重大です。

**5時間の手術は成功し一安心ですが、闘いはこれからです。星野さんの生命と健康を守り、44年もの長期拘禁を強制し、星野さんを病気にした国家権力・法務省に対して、7月5日、法務省包囲デモに打って出しましょう。更に医療センターと法務省、関東地方更生保護委員会あての新要望書を集めましょう！！ 送り先は、百万人署名運動・千葉県連絡会までお願いします。**

## 6. 地方の切り捨てと「命より金」の産廃施設の拡張工事を止めよう

4月16日、千葉地裁で、新井総合の産業廃棄物最終処分場拡張工事差止の千葉県を相手取った行政訴訟が開かれました。この処分場は、千葉県の中央を流れる小櫃川の水源に位置し、地元住民をはじめ152人が原告として立ち上がりました。この日田植え時期の農繁期にもかかわらず、地元からは原告をはじめ多くの人たちがバス2台で駆け付けました。

この産廃処理場の第1期施設は高濃度の塩化イオンが漏れ出す事故が起きました。事故原因が解明されないにもかかわらず、千葉県は同施設の拡張工事を許可しました。「県の増設許可は違法」と地元住民が立ち上がったものです。

「大切な水源の地に日本一となる処分場の許可をするのは許せない」（「ふるさとの水を守る会」共同代表金森住職）と訴えています。これは一君津地方だけの問題ではありません。小櫃川を水源とする水は、君津全域、木更津、袖ヶ浦、市原のみならず、千葉市の水源にもなっています。

人口の少ない地方の山林を伐採し、そこに産業廃棄物を持ち込む。地方の切り捨てと、「命より金」という構図が見えてきます。県の許可に抗議し、産廃最終処分場の拡張工事を止めましょう。

**第2回公判は6月28日(金)15時から千葉地裁 601号法廷です。みんなで駆けつけましょう。**

## 7. オスプレイの「暫定配備」(木更津駐屯地) 絶対反対！

防衛省は5月24日、陸上自衛隊 木更津駐屯地にV22オスプレイ17機の「暫定配備」を木更津市に要請しました。それは、ほんとうに「暫定」なのでしょう。詳細は次号に掲載します。

### 6月の予定

#### 例会

- 6/11(火) 18:00～ ちば・市原連絡会例会(17時～作業) 千葉ツインビル9F
- 6/29(土) 14:00～ 県例会&発送作業 終了後学習会を行います。 DC会館

#### 集会等

- 6/05(水) 18:30～ 関西生コン支部への弾圧許すな学習会、港勤労福祉会館(JR田町駅西口)
- 6/08(土) 12:30～ 避難プロジェクト DC会館
- 6/15(土) 13:00～ 労働学校 講師：山本志都さん「労働法制改悪との闘い」 DC会館
- 6/26(水) 15:00～ 裁判員制度はいらない！千葉県実行委員会 ツインビル9F
- 6/30(日) 12:30～ 第3回檜の木まつりー交流とデモ 成田市市東さん宅
- 7/05(金) 正午、日比谷公園霞門集合 星野さん解放法務省行動 星野再審全国再審連絡会議
- 7/14(日) 13:00～ 平和教育つぶしと学校統廃合に反対する千葉学習・討論集会 DC会館

法務大臣 山下貴司 殿  
東日本成人矯正医療センター長 奥村雄介 殿  
関東地方更生保護委員会 御中

## 要 望 書

星野文昭さんは1971年沖縄闘争を闘い、44年の長きにわたって投獄されています。73歳です。本年3月25日に四国地方更生保護委員会（井坂巧委員長・当時）は仮釈放を不許可としました。その直後の4月18日に徳島刑務所から東日本成人矯正医療センターに移監されました。ステージⅡ～Ⅲの重い「肝細胞がん」でした。

星野さんは、米軍基地の固定化・強化を狙った沖縄返還協定に反対し、沖縄の民衆と連帯した東京・渋谷のデモに、多くの青年労働者・学生と共に立ち上がりました。デモで機動隊員1人が死亡したことで、リーダーだった星野さんは「実行犯」にでっち上げられ、無期懲役の判決を受け、今もなお投獄されています。一貫して無実を訴え、再審を求めて闘い続けています。

昨年8月の猛暑の中、星野さんは経験したことのない腹部の激痛と、血流が逆流するような感覚に襲われ倒れました。徳島刑務所の医師は胃ケイレンと診断しただけで、家族・弁護団が医療検査を強く求めても実施しませんでした。それ以降、体重が減少し、疲れやすくなり体調を崩していきました。本年3月4日にやっと腹部エコー検査が行われました。ところが徳島刑務所はその結果を告げずに隠し放置したのです。

東日本成人矯正医療センターの検査で、「肝細胞がん」を患っていたことがわかりました。法務省・徳島刑務所・四国地方更生保護委員会の命を軽んじる非人間的な対応に強い怒りを禁じえません。

憲法第13条（幸福追求権）、第25条（生存権）は医療を受ける権利を規定しています。刑事被収容者処遇法第56条は、刑務所医療も社会一般の医療水準が保障されることを明記しています。

東日本成人矯正医療センターは星野さんの命を絶対を守るため、十分な医療を実施されるように要望します。さらに、家族と共に生き、獄外の医療が受けられるように1日も早く星野さんが解放されることを要望します。

2019年 月 日

氏名

住所

職業（肩書き）